



久遠塾

君の世界に芽生えるものは
vol. 12



かたおか あすか
片岡 明日香

最近、日本テレビ「ニュースエブリイ」でメインキャスターを務める藤井貴彦アナウンサーの言葉が話題になっています。温度のある、心に響く言葉だと。

届く、響く、残る

4月末現在、白糠高校も久遠塾もお休みの期間が続いています。学習を満足にできないこと、オープンキャンパスや検定試験が次々中止になることを残念がる生徒も少なくありません。それでも前向きに、学校から出た課題に取り組む生徒、次回の検定に向けて準備を進める生徒、改めて進路について考える生徒がいます。久遠塾に「何か課題

をください」と連絡をくれる生徒もいます。

そんな中でも今回は、とある一人の生徒のお話を。

その生徒は、希望進路の実現に向けて黙々と学習に励んでいます。試験に必要な作文については、毎日テーマを与え、彼女は自宅でその作文に取り組みます。できあがったものを写真でこちらに送り、それを塾スタッフで添削をして、またその写真を送り返す、という形です。

先日「あなたが学んだこと」というテーマで作文を書いてもらいました。「白糠高校に入ってから学んだことは勉強の大切さ」だと書かれていました。

今まで勉強をバカにしていたけれど今の私だったら勉強の意味が分かる。勉強はテストで良い点数を取るためだけじゃなくて、もつとその向こうにあると思う。クラスメートを見ると、大変な努力と目標を達成する決意がある。それなら、落ちてもきつとまた上へのぼる方法を見つけれられると思う。

別の日には「感謝の気持ちを持つことの大切さ」をテーマにしました。彼女の文章は、こうです。

感謝の気持ちには、小さなものでも、単純なことでも満足できる力がある。この世には感謝できるものはいっぱいある。人はそれに気づかないから、奪い合ったり落ち込んだりする。感謝の気持ちがあれば、貧しくても不運でも幸せを感じられる。

彼女の文章もまた、温度のある、心に響く言葉だと、私は思っています。確かに、試験としての作文の形式、言葉遣い、誤字脱字に注意を払うことは大切です。日記のように思ったことをただただ自由に書くのは、また別の話です。しかし、その人の純粹な思いや飾らない心からの言葉



白糠の仕事人 on Instagram。
5月いっぱい中止となっているゼミに代わって、インスタグラムを利用した企画を始めました！



今後のゼミ（会場・久遠塾 公民館3階）

●しらゼミ（高校生対象）〔絵本をつくろう①〕

6月8日(月) ①18:15~19:15

●地理っ子クラブ〔リトアニア・ポーランド〕

6月24日(水) 18:15~19:15

くおんじゅく

久遠塾 ☎ 080-2182-1379 13:00~21:00（平日）

メールアドレス shiranuka.kuon@gmail.com

ブログ <https://kuon-jukulocalinfojp.amebaownd.com>

は、相手の心に届きます。響きます。だから心に残るのです。